

座 標 測 定 手 簿

作 業 番 号	045	図 号	28	縮 尺	1/500	測 定 省	1
地 図 番 号	V-12-1	地 番	尺	測 定 日		測 定 者	K. KASUIRADA

地区 地番及び座標値(X:Y)

1500	1500	1500	1985	1500	2085	1500	2093	1500	2263	1500	2501	1500	2575	1500	2749
1500	3502	1499	4141	1499	4499	2499	4500	3499	4500	4191	4500	4498	4500	4611	4499
4681	4499	5129	4499	5181	4500	5227	4400	5499	4500	5499	4130	5499	4073	5499	3834
5499	3320	5500	3776	5500	3501	5500	2959	5500	2593	5501	2499	5500	2307	5500	2292
5501	1500	5319	1500	4692	1500	4502	1500	4217	1500	4137	1500	3780	1500	3502	1500
3332	1500	3177	1500	3062	1500	3014	1500	2502	1500	2379	1500	2077	1500	1765	1500

07* 1494 (1494-14) 2/4
 #1500-1500 (24.25) 1500-1985 (2.51) 1535-2021 (9.83) 1672-2162 (15.15)
 1714-1862 (18.28) 1765-1500 (13.25)

* 1492 2 1/2
 1765-1500 (18.28) 1714-1862 (15.15) #1672-2162 (16.59) 1929-2372 (0.71)
 1940-2363 (43.69) 2077-1500 (15.60)

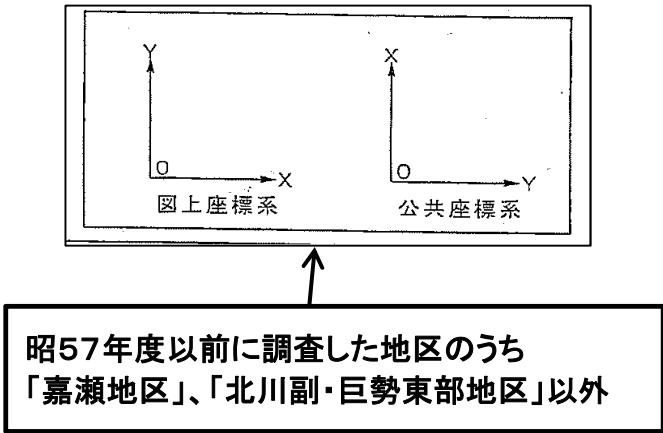
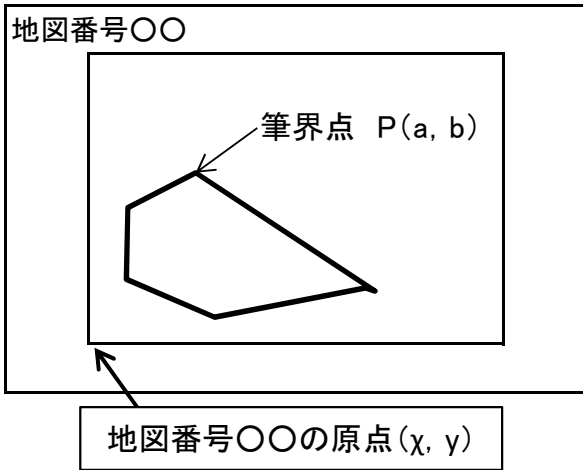
地 番

側点間距離

筆界 Y 座標 : b

筆界 X 座標 : a

作成年度により表示が異なります。



筆界点 P(a, b) を公共(日本測地系)座標(X, Y)へ変換する方法

- ※ 変換後の計算結果「Y」は必ず「マイナス」になります。
- ※ 昭和57年度以前の調査地区のうち「北川副・巨勢東部地区」は公共座標(日本測地系)です。

□ 昭和57年度以前の調査地区 (嘉瀬地区) 日本測地系へ座標変換

筆界点の座標(a,b)は任意座標で、「x」と「y」の座標は正しく記載されている。

計算式 変換後 $X = (a \times 0.005) + (x \times 1000)$
 変換後 $Y = (b \times 0.005) + (y \times 1000)$

□ 昭和57年度以前の調査地区 (嘉瀬、北川副・巨勢東部地区以外) 日本測地系へ座標変換

平板の原点は、公共座標(日本測地系)であり、正しく表示されているが
 筆界点の座標(a,b)は任意座標かつ、「x」と「y」の座標が逆に記載されている。

計算式 **縮尺 1/500 地区の場合**
 変換後 $X = ((b - 1500) \div 20) + (x \times 1000)$
 変換後 $Y = ((a - 1500) \div 20) + (y \times 1000)$

縮尺 1/1000 地区の場合
 変換後 $X = ((b - 1500) \div 10) + (x \times 1000)$
 変換後 $Y = ((a - 1500) \div 10) + (y \times 1000)$